

変更前	変更後	変更理由 記載の適正化																																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td></tr> <tr> <td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td></tr> <tr> <td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td></tr> <tr> <td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td></tr> <tr> <td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td></tr> <tr> <td>(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)</td><td>(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)</td></tr> </tbody> </table>	機器名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	各部品	工具	機器	部品	部品番号	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> <th>部品番号</th> <th>部品名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td><td>各部品</td></tr> <tr> <td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td><td>工具</td></tr> <tr> <td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td><td>機器</td></tr> <tr> <td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td><td>部品</td></tr> <tr> <td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td><td>部品番号</td></tr> <tr> <td>(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)</td><td>(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)</td></tr> </tbody> </table>	機器名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	各部品	工具	機器	部品	部品番号	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)																																																																																
機器名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名																																																																																																																								
各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品																																																																																																																								
工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具																																																																																																																								
機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器																																																																																																																								
部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品																																																																																																																								
部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号																																																																																																																								
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)																																																																																																																								
機器名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名	部品番号	部品名																																																																																																																								
各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品	各部品																																																																																																																								
工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具	工具																																																																																																																								
機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器	機器																																																																																																																								
部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品	部品																																																																																																																								
部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号	部品番号																																																																																																																								
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)																																																																																																																								

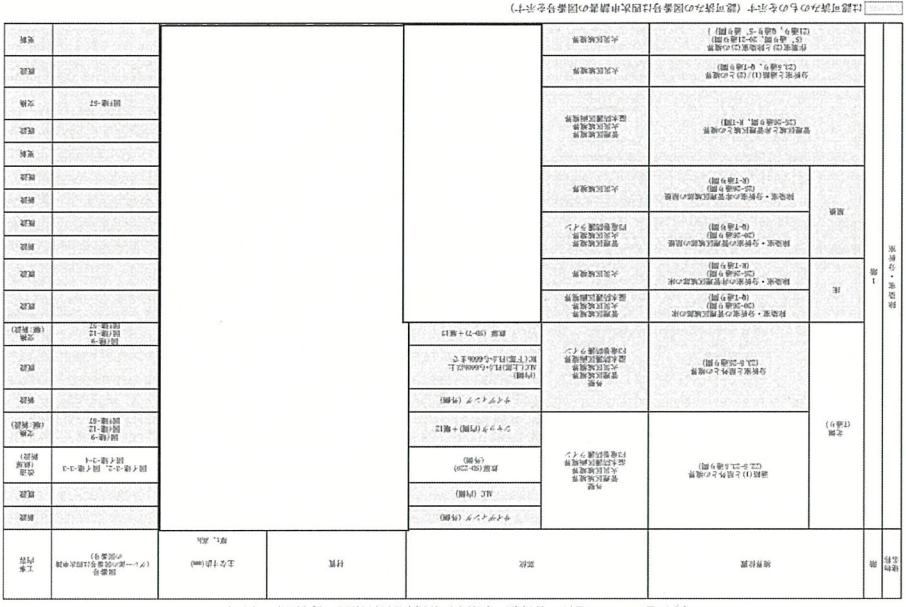
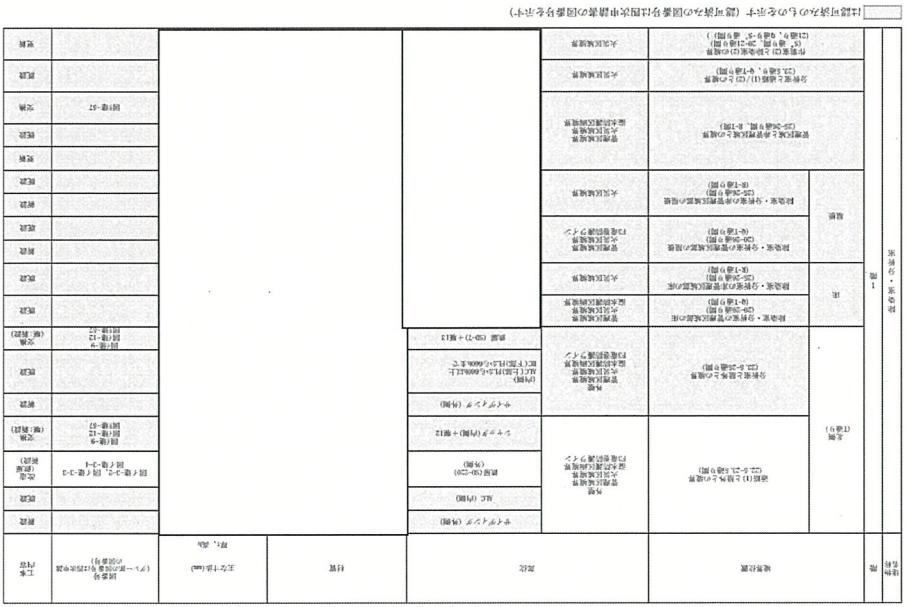
変更対象を黒文字下線もしくは赤文字下線で示す。変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前	変更後	記載の適正化		変更理由
		記載の適正化	変更後	
		表下線-3-1 建物の各部位の仕様表 (付属建物等) 説明書類別印前会社 (3/3)	表下線-3-1 建物の各部位の仕様表 (付属建物等) 説明書類別印前会社 (3/3)	(注) 建物の各部位の仕様表を赤文字下線もしくは黒線囲いで示す。
		表下線-3-1 建物の各部位の仕様表 (付属建物等) 説明書類別印前会社 (3/3)	表下線-3-1 建物の各部位の仕様表 (付属建物等) 説明書類別印前会社 (3/3)	1686

変更前		変更後		記載の適正化		変更理由	

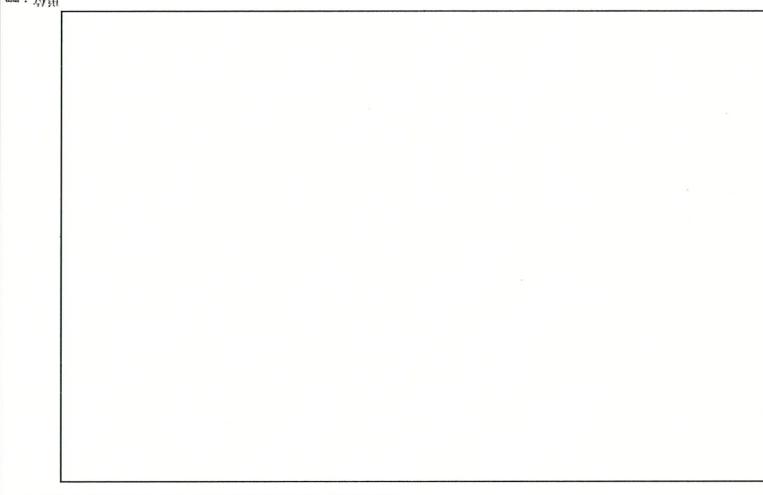
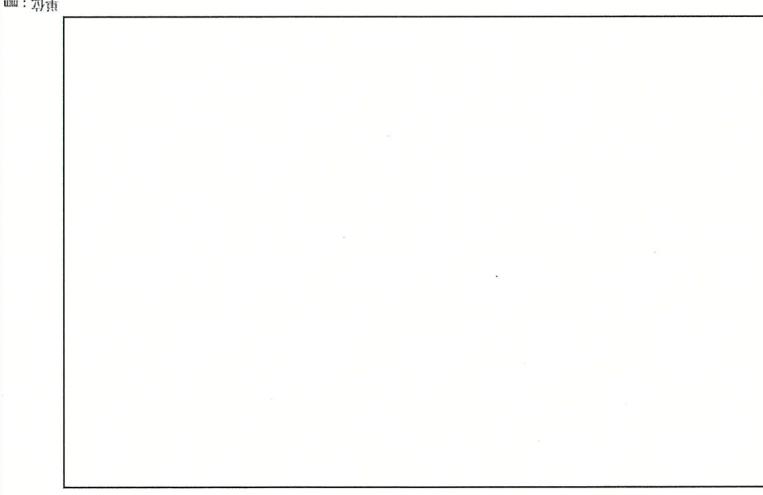
表 1-3-3 建物の各部位の仕様表 (付属建物第3施設物貯蔵庫) (1/1)

変更対象を黒文字下線もしくは赤線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲いで示す。

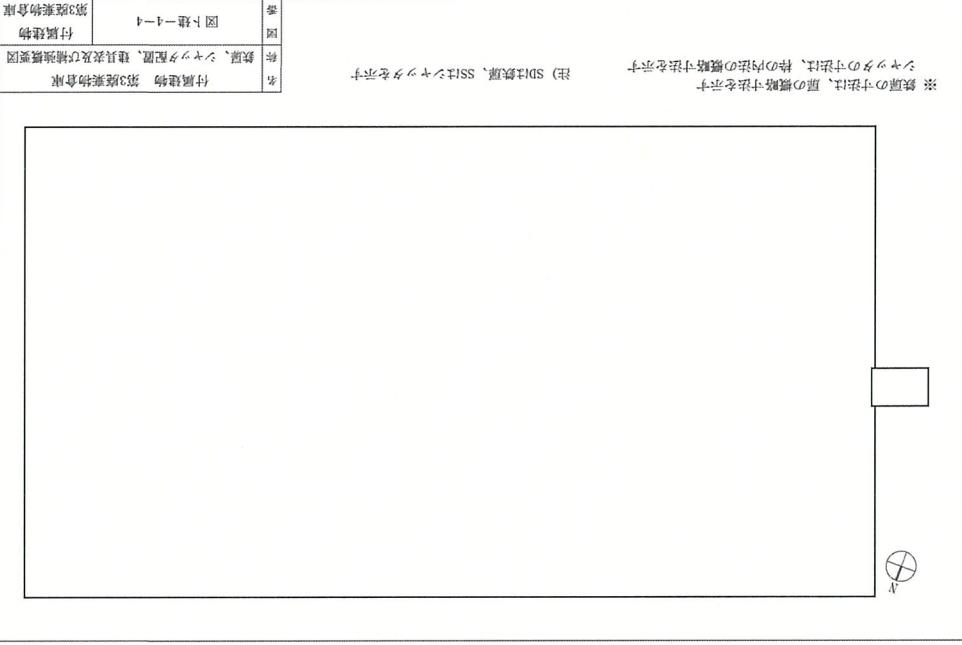
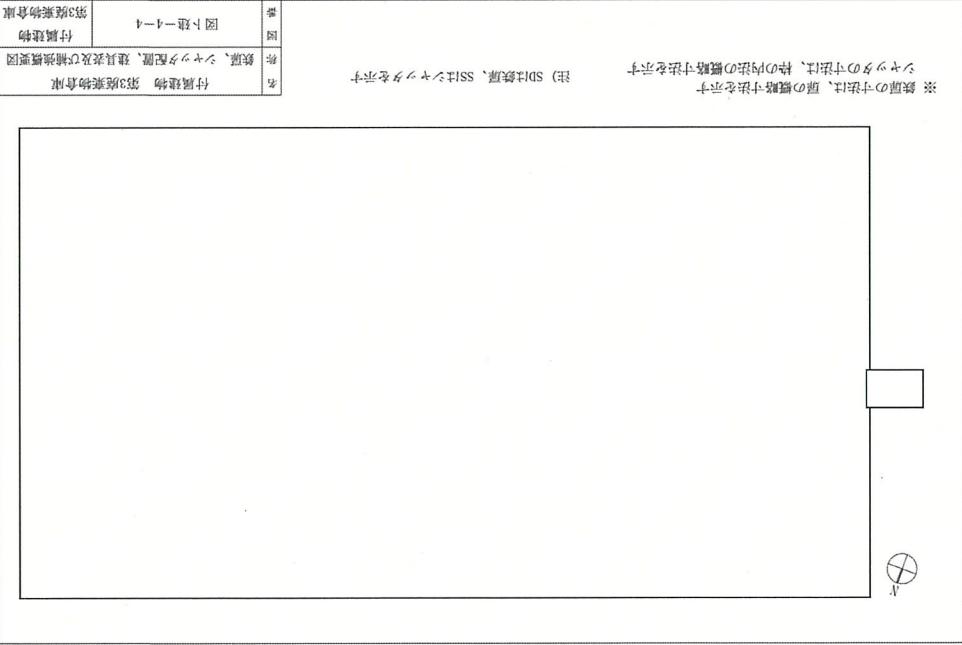
		変更前		変更後		変更理由		記載の適正化									
表下録-3-4 記載物の各部位の仕様表（付属機物取扱書・分析書）(2/2)																	
																	
表下録-3-4 記載物の各部位の仕様表（付属機物取扱書・分析書）(2/2)																	
																	

変更対象を黒文字下線もしくは赤文字下線もしくは赤線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲いで示す。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前	変更後	記載の適正化 変更理由
		<p>■ : 図仕切り線表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : PDF出力用表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : EXCEL出力用表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : 単位:mm</p> 
		<p>■ : 図仕切り線表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : PDF出力用表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : EXCEL出力用表示 (右端第一段迄)</p> <p>■ : 単位:mm</p> 

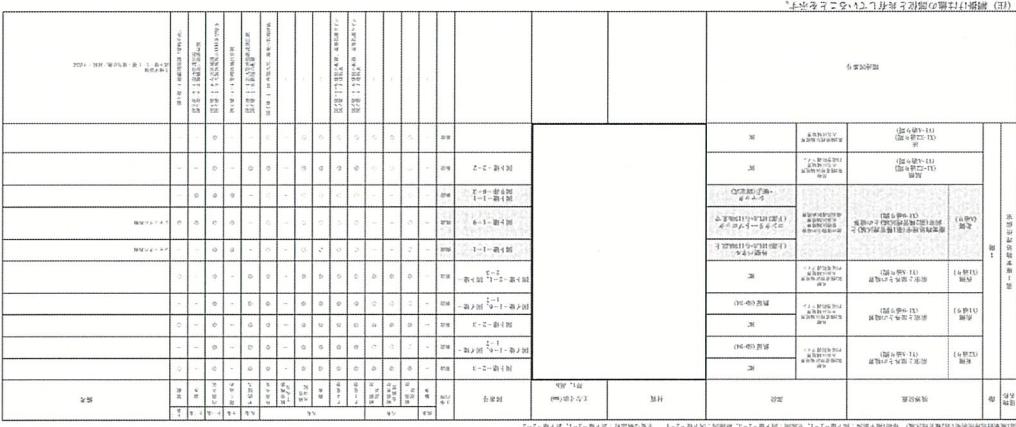
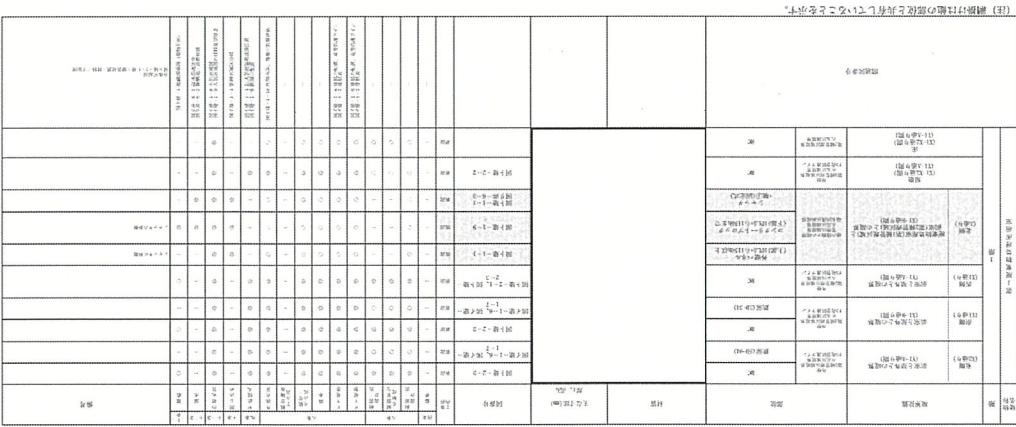
変更対象を黒文字下線もしくは赤線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

		変更理由 記載の適正化
変更前		<p>※ 資源の寸法は、既の設計寸法を元に ※ SDI寸法、SII寸法による表示</p> <p>※ 計算、吟味、確認、検査及び構成要因 ※ 計算結果、吟味結果、確認結果、検査結果</p> <p>※ 計算結果、吟味結果、確認結果、検査結果</p> 
変更後		<p>※ 資源の寸法は、既の設計寸法を元に ※ SDI寸法、SII寸法による表示</p> <p>※ 計算、吟味、確認、検査及び構成要因 ※ 計算結果、吟味結果、確認結果、検査結果</p> <p>※ 計算結果、吟味結果、確認結果、検査結果</p> 

変更対象を黒文字下線もしくは赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前		変更後		変更理由	
				記載の適正化	
記録					

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前		変更後		変更理由 記載の適正化
				(注) 記載の変更箇所を赤線で囲んでいます。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲いで示す。

変更前		変更後		記載の適正化	変更理由
登録番号	登録者名	登録番号	登録者名		
2024-00001	田中 一郎	2024-00002	田中 一郎	2024-00001	田中 一郎
2024-00002	田中 一郎	2024-00003	田中 一郎	2024-00002	田中 一郎

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更対象を黒文字下線もしくは赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

	変更前		変更後		記載の適正化 変更理由
	記入欄	記入欄	記入欄	記入欄	
5921					変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。
5925					変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

	変更前		変更後		記載の適正化 変更理由
	記載の適正化	変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲い、 変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲い	記載の適正化	変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲い、 変更箇所を赤文字下線もしくは黒線囲い	

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前	変更後	変更理由
<p>*サイディングは熱伝導に優れた鉄鋼材で構成されていることから、外側 □と内側の□は約1℃昇温すること、壁面温度の評価 式には建物外の熱容積 C_e を使用していることから、□ □と□の合計からの熱容積当たりの質量 $100kg/m^2$ を加 熱対象として適用した。ロックサークル吹付けの熱容積は考慮しない事とし、 供給部は評価した。</p> <p>耐圧、シャッタ□、屋根□、シャッタ□、屋根□、ガラリ部□ □ : 450°C (出典：建築火災のメカニズムと火災安全設計 (自重/長周期 耐)に対する变形が認められない温度(耐震構造度) Exp.J □ : 700°C (出典：ステンレス協会 HP) ※ Exp.J の耐ホシートについては、閉じ込め性能を維持することを確認し た。</p> <p>(3)-2 燃地外の火災</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃地外のタンクローリーの火災は、燃地内の火災と同様に評価し判定する。 当社燃地の東側に隣接するニューケクリア・デベロップメント株式会社の火災源 (危険物屋外タンク貯蔵所)に最も近い当社加工施設の建物は、事業許可のと おり第1種薬物処理所であり、火災源との距離は109mである。 本申請範囲の建物と燃地外の火災源の距離は109m以下であり、外壁温度が許 容温度になる危険距離が109mより小さいことを確認する。 <p>(3)-3 燃地内の爆発</p> <ul style="list-style-type: none"> 爆発源と対象建物①～⑥との間に影響を及ぼす障害がある場合は、爆発の影響が 及ばないものとする。 燃発源と建物との最短距離を、隣接距離として評価する。 危険限界距離 X(m)と隣接距離 1(m)を比較し、危険限界距離 < 隣接距離である ことを確認する。 事業許可別表-18で、主に薬物を取り扱う①-A シリンダ洗浄機、②-A 第1 種薬物処理所、③第2種薬物処理所の爆発に対する評価は、リスクが小さいこ とから、危険限界距離の代わりに保安距離*、第一種設備距離**を適用した。 薬物の搬出入をする、①-B シリンダ洗浄機前室、②-B 第1種薬物処理所前 室についても、リスクが小さいことから、危険限界距離の代わりに保安距離、 第一種設備距離を適用する。 保安距離：液化石油ガスの保安の確保及び吸引の適正化に関する法律に定 められている、周間にある保安装置に対する距離距離 ** 第一種設備距離：一般高压ガス保安規則に定められている、第一種保安 物件に対しての距離距離 	<p>*サイディングは熱伝導に優れた鉄鋼材で構成されていることから、外側 □と内側の□は約1℃昇温すること、壁面温度の評価 式には建物外の熱容積 C_e を使用していることから、□ □と□の合計からの熱容積当たりの質量 $100kg/m^2$ を加 熱対象として適用した。ロックサークル吹付けの熱容積は考慮しない事とし、 供給部は評価した。</p> <p>耐圧、シャッタ□、屋根□、シャッタ□、屋根□、ガラリ部□ □ : 450°C (出典：建築火災のメカニズムと火災安全設計 (自重/長周期 耐)に対する变形が認められない温度(耐震構造度) Exp.J □ : 700°C (出典：ステンレス協会 HP) ※ Exp.J の耐ホシートについては、閉じ込め性能を維持することを確認し た。</p> <p>(3)-2 燃地外の火災</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃地外のタンクローリーの火災は、燃地内の火災と同様に評価し判定する。 当社燃地の東側に隣接するニューケクリア・デベロップメント株式会社の火災源 (危険物屋外タンク貯蔵所)に最も近い当社加工施設の建物は、事業許可のと おり第1種薬物処理所であり、火災源との距離は109mである。 本申請範囲の建物と燃地外の火災源の距離は109m以下であり、外壁温度が許 容温度になる危険距離が109mより小さいことを確認する。 <p>(3)-3 燃地内の爆発</p> <ul style="list-style-type: none"> 爆発源と対象建物①～⑥との間に影響を及ぼす障害がある場合は、爆発の影響が 及ばないものとする。 燃発源と建物との最短距離を、隣接距離として評価する。 危険限界距離 X(m)と隣接距離 1(m)を比較し、危険限界距離 < 隣接距離である ことを確認する。 事業許可別表-18で、主に薬物を取り扱う①-A シリンダ洗浄機、②-A 第1 種薬物処理所、③第2種薬物処理所の爆発に対する評価は、リスクが小さいこ とから、危険限界距離の代わりに保安距離*、第一種設備距離**を適用した。 薬物の搬出入をする、①-B シリンダ洗浄機前室、②-B 第1種薬物処理所前 室についても、リスクが小さいことから、危険限界距離の代わりに保安距離、 第一種設備距離を適用する。 保安距離：液化石油ガスの保安の確保及び吸引の適正化に関する法律に定 められている、周間にある保安装置に対する距離距離 ** 第一種設備距離：一般高压ガス保安規則に定められている、第一種保安 物件に対しての距離距離 	<p>記載の適正化</p>

設工認上のスラット材の記載について

1. 『主要な構造材の仕様表』の記載について

『主要な構造材の仕様表』シャッタの代表部材はすべてレール部の鋼材である としていた。

スラット材は主要な構造材の中の鋼材で読めると考えていいた。

(例：4次申請書：p74)

(3) 本体及び前室

1-k. 鉄扉及びシャッタ交換

鋼材：板厚 mm

(鋼材は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッタの場合、シャッタ両サイドのレールの部材、板厚は、鉄扉の場合、扉の板材、シャッタの場合、スラット部を示す)

これは以下を意図して記載した。

(1) 鋼材

コロン記号「：」の前にある鋼材とは、鉄扉およびシャッタ全体の材料を示しており、鋼板であるシャッタのスラット材も含んでいる。

レール部材については、であることを特定するため、「鋼材は、・・・シャッタ両サイドのレールの部材、・・・を示す」との記載で明確化した。

(2) 板厚

シャッタのスラット部の板厚が mm であることを特定するため、「板厚は、・・・シャッタの場合、スラット部を示す」との記載で明確化した。

上述の通り、スラット材は鋼材、 mm として読み取れるものと考えていたが、記載として、板厚はスラット材、レール材は と分けて記載することはわかりにくくないと判断し、より分かりやすい記載として、スラット材の材料も合わせて記載することとした。



(変更後)

(3) 本体及び前室

1-k. 鉄扉及びシャッタ交換

鉄扉板材：板厚 mm

シャッタレール部：

シャッタスラット部：板厚 mm